☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!

大阪から公害をなくす会ニュース

大阪から公害をなくす会
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120
FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者　金谷　邦夫
年間購読料一部2,000円(送料共)
郵便振替 00910-7-300387

なくそう原発
3・11府民1万人集会

東日本大震災・福島原発事故から1年となった3月11日、扇町公園で「なくそう原発 3・11府民1万人集会」が行われ、8000人が集いました。プレ企画から集会、パレードまで元気よく楽しく「なくそう原発」をアピールしました。

扇町公園には、団体などのブースが作られ、放射能測定コーナーやソーラークッカー（太陽光で調理）でポップコーンの調理のほか、農民連の農産物販売や原発ゼロの会・医療生協かわち野がいなり寿司と豚汁の販売、新婦人の手作り平和バッチ販売など賑やかでした。

プレ企画のステージは、ラップで原発を告発する歌から始まりました。原発ゼロ川柳では、「核なしは 8月だけでは ありません」などが披露されました。歯科医師や若い女性が震災支援活動の報告をしました。被災地への想いをゴスペルで披露した専門学校生グループなど、歌と踊りで会場を盛り上げました。

集会は、原発ゼロの会・大阪代表の金谷邦夫医師のあいさつで始まりました。原発ゼロの会・大阪の呼びかけ人である大阪市立大学名誉教授の宮本憲一さんと弁護士の石田法子さんから、原発ゼロ運動を発展させようとの呼びかけがありました。福島県南相馬市で農業を営んでいた三浦弘志さんは、津波で自分の町の住宅が60戸から3戸に減り、しかも点々と避難場所を変えている現状、そして将来に再び農業ができる見通しのない中で、うつ病と糖尿病が増えていることを話されました。三浦さんが怒りを持って訴えたのは、生活再建も難しく3月で失業手当が打ち切りになる人が多く出る中、賠償金に所得税をかけることを国が検討しているとのことです。大阪のみなさんへのお願いとして、安全基準をクリアした食材は怖がらず購入してほしいと訴えられました。続いて国会で原発の危険性を追及し続けてきた日本共産党の吉井英勝衆議院議員の発言がありました。

東日本大震災が起きた14時46分に会場全体で黙とうを捧げました。

中崎町までの原発ゼロパレードは、「なくそう原発」のメッセージボードを掲げるなど、それぞれが工夫したアピールをしながら歩きました。沿道から手がふられ「原発ゼロ」への想いが広がっていることを感じ元気の出るパレードでした。

各コーナー訪問記

（原発コーナー）
参加者が次々と訪れ、パネルを熱心に見たり、放射能測定の実施と機械の説明を聞き、塩化カリウムの数値の高さにはびっくり。講師依頼も現地で成立。

（震災支援コーナー）
サツマイモ（現地でフライパン使って焼き芋に・大好評）・落花生・酒・野菜10類など全部売れました。

（自然エネルギー）
太陽熱でポップコーン作りを実験。

（医療生協かわち野コーナー）
いなり寿司（1セット2個か3個で大議論した）と豚汁200食すぐ売れました。

（新婦人中央支部コーナー）
手作り平和バッチが800個売れました。ご協力ありがとうございました。

［参加者感想］
・久しぶりに8000人も集って、元気がでた。
・みなさん（宮本先生、石田先生、三浦さん、吉井さん）の訴えどれも良かった。
・関大生のラップよかった、もっと聞きたかった。
・いつもと違って若い人の参加も多くて嬉しかった。